

地域の力 絆深めて 住みよい下阪本

発行：下阪本自治連合会 大津市下阪本三丁目14番30号
 発行者：会長 三田光夫 下阪本市民センター 077-578-0017
 編集：下阪本湖都通信編集部

「まちづくり協議会」立ち上げに向けて その4

…下阪本学区まちづくり協議会設立準備会中間報告…

1、下阪本学区を取り巻く社会的変化



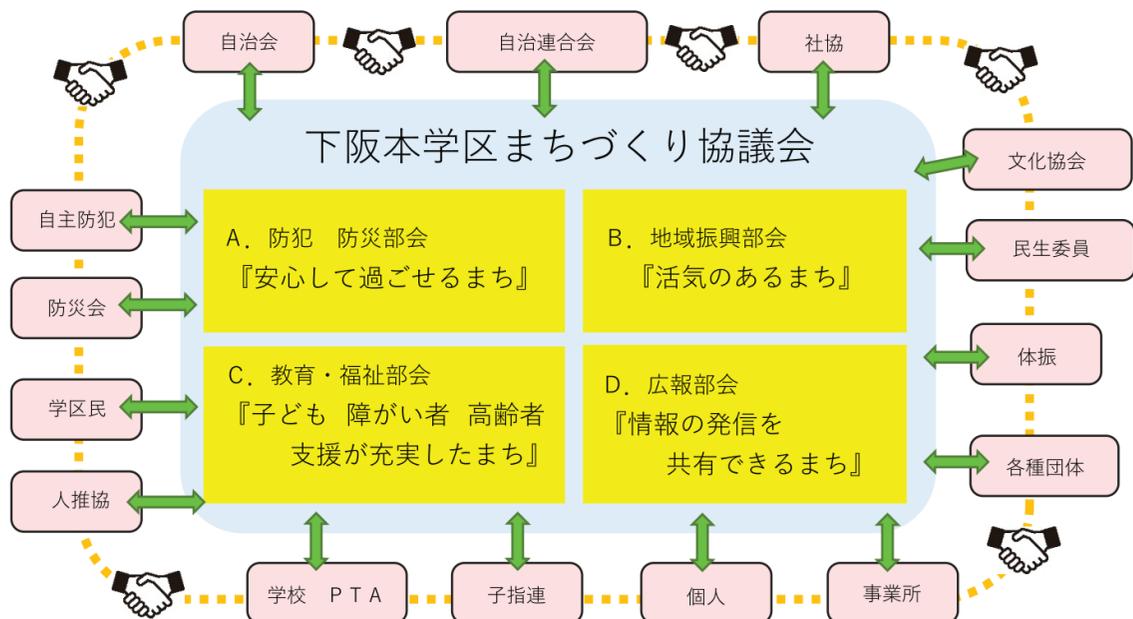
2、これから必要な「持続可能なまちづくり」

- ・様々な課題に対応できる新しい仕組みづくり(まちづくり協議会)が必要
- ・各種団体が個々に対応するのではなく、横断的に対応していく場が必要
- ・住民を巻き込んだ“人づくり”、地方自治を担う“人づくり”が必要

持続可能なまちづく



3、下阪本まちづくり協議会の青写真



祝かまどベンチ完成



下阪本小学校の小グラウンドに『かまどベンチ』5基完成しました。昨年度より、小学校では教育課程に「防災教育」を位置づけて力を入れられており、「学校や子どもたちのために何かできないか」と、校長先生を交えて地域の者が思い思いに話し合いました。最終的に、下阪本まちづくり協議会設立準備会が中心となって、7月29日『かまどベンチ』制作に向けて動き出した次第であります。大津市の「地域元気づくり事業(20万円)」を活用し、自治連合会・防災会・子指連・社協・学区民・自主防犯・下阪本小学校PTA等が協力金を出しました。

8月24日・25日の両日、津田左官屋(のべ9人)が全力を挙げてかまどを完成して下さいました。そして、かまどベンチ天板の制作には、防災会の八田さんが名乗りを上げてくださり、9月4日に完成いたしました。皆さまの温かいお力添えに厚く御礼申し上げます。

来る10月23日に、真新しいかまどを使って『親子ふれあいデー』を開催いたします予定です。



防災かまどベンチが完成

下阪本まちづくり協議会設立準備会を中心に、各種団体の皆さんが連携され、本校の小グラウンドの一角に『かまどベンチ』が完成しました。

これは学区と連携して防災教育を進める計画をしている本校にとっても大変ありがたいことです。11月には5年生が、このかまどを利用してお米の収穫祭(昨年できなかった6年生も実施予定)を計画しています。また冬には、3年生の火起こし体験や4年生の防災学習などでも使わせてもらう予定です。日常のベンチとしてだけでなくかまどとして他にもいろいろと活用できそうで大いに楽しみです。

下阪本小学校校長

下阪本小学校「夢プロジェクト」ボランティアの募集

●収穫祭

- ・日時 11月
- ・主催 下阪本小学校・PTA
- ・協力 まち協設立準備会
- ・内容 かまどを使って、炊き出しのお手伝い

※ボランティアを希望される方は、下阪本小学校(578-0502)まで申し出て下さい

* しもさかもと再発見 --- 湖都彩々 --- ⑩ *



志津浜の日の出

四ツ谷町の志津浜の湖岸から見た日の出の風景です。全く風のない朝、鏡面の様な湖上に、昇り始めた太陽の光がリフレクションして、驚くほど美しい情景でした。一定条件が整った時、稀に見られる現象です。